EA901A-27,-34,-52（電動リフト）取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂くためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

○ 基本的な注意事項につきまして

1. 人間を載せて持上げたり、足場にしないでください。
2. 電動リフトに荷物を載せてあげている時は、電動リフトの下に作業者や第三者は立たないでください。
3. 電動リフトのケーブルが摩り減ったり、よじれたり、損傷のあるものは使用しないでください。
4. 電動リフトは高圧電線等の側から離して作業してください。
5. 電動リフトの上げ作業中は、電動リフト本体を動かさないでください。
6. 電動リフトは、動きのある表面や乗物に乗せて使用しないでください。
7. 電動リフトの使用荷重を超えないようにしてください。
8. 作業時の安全距離は電動リフトから3mです。
9. 電線と接触した時は機器から離れてください。
10. 機械の仕様において、名目電流を超えると機器の能力が減少し、異常なスピードアップが発生し、機器に損傷を与えます。
11. 電動リフトの電源コードやスチールケーブルをつかまないでください。
12. 電動リフトの折り畳み脚やその他の箇所で手や足を挟まないように注意してください。
13. 電動リフトを降下させる時は周囲がきれいなことと、人や障害物がないことを確認してください。
14. 電動リフトに対してハシゴや足場をかけないでください。
15. 当製品を熟知した作業者が使用してください。未熟練者が使用すると適切な取扱説明なしに危険な状況で作業を行う可能性があります。
16. 当製品を分解加工しないでください。
17. 適切な使用を行ってください。取扱説明書に書かれてある禁止事項は行わないでください。不適切な使用は行わないでください。
18. ツールは適切に取り付けてください。ツールを適切に取り付けないと電動リフトが破損し危険です。
19. 作業中に何らかの異常がある時は、緊急停止ボタンを押し、電源を切り作業を中止してください。

○ 危険な作業環境についての注意事項につきまして

1. 電動リフトは雨の中や、湿った環境、濡れた地面の上などで使用しないでください。地面に水の溜まっている状況は感電事故発生の恐れがあります。モーターの故障につながります。
2. ガス、オイル、ｱﾙｺｰﾙなどがあり発火しやすい場所の側で作業しないでください。ﾓｰﾀｰを操作する時に、発火・爆発等の点火源となり人身事故及び火災を発生する可能性があります。また、ﾓｰﾀｰ内にｸﾞﾘｽやｱﾙｺｰﾙを入れないでください。発火する可能性があります。
3. モーターの通気口を防がないでください。通気口はモーターを空気冷却するためのものです。通気口に金属製の針などを差し込まないでください。感電事故の恐れがあります。
4. 作業現場は清潔に整理整頓してください。暗く汚れた現場は事故を起こす可能性があります。作業現場を充分明るくして、きれいにしてください。
5. 電動リフトは不安定なバランスの取れない所で使用しないでください。作業する前に、ﾘﾌﾄを固定し、レベルで水平をとってください。
6. 強風下で電動ﾘﾌﾄを使用しないでください。
7. 載せる荷物が重すぎたり、大きすぎると、電動リフトは強風下で作業するようにバランスを減少させてしまいます。荷物のサイズが大きい時は荷物が電動ﾘﾌﾄのﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑの中心に来るようにしてください。
8. 電動リフトを使用する前に現場に傾斜、穴、こぶ、破片、不安定要因、滑りやすい表面等の危険な状況がないかを確認してください。

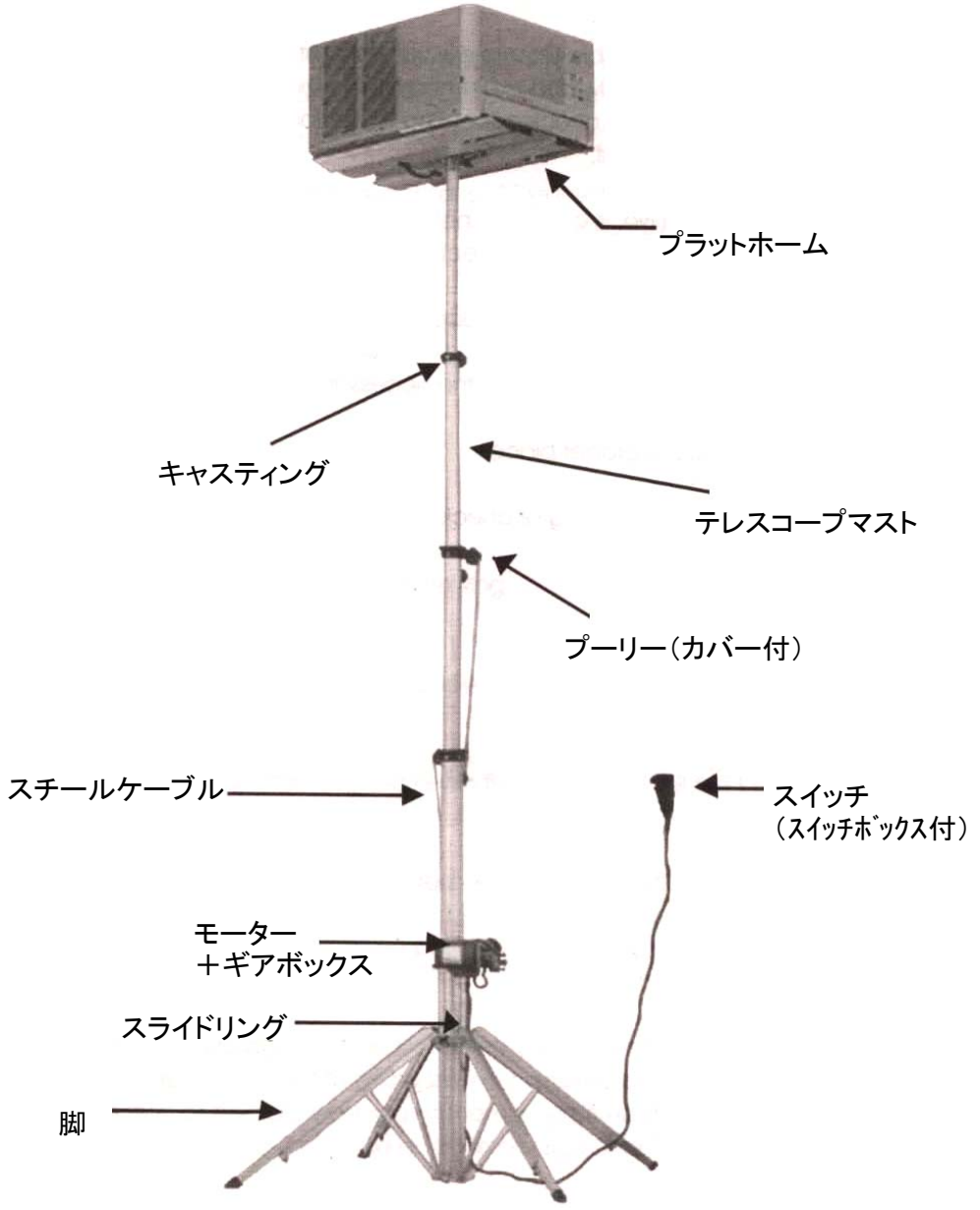
○ 電源コードの取扱いについての注意事項につきまして

1. 電源コードを握って、ﾓｰﾀｰとの接続ポイントを引張らないでください。能力低下や感電事故の原因になります。
2. 電源コードは鋭い角や刃物類、または熱い所から保護してください。
3. 電源コードに損傷がある時は電動リフトを使用せず、修理を受けてください。

○ 荷物を持上げる前の注意事項につきまして

1. 電動リフトの脚は荷物を上げる前にしっかりと固定されていることを確認してください。
2. 電動リフトが荷物を持上げる前に周囲の状況が安全であることを確認してください。
3. 電動リフトで荷物を上げる前に、ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑの中心に荷物があることを確認してください。
4. 電動リフトは水準器を装備しています。(EA901A-27を除く)荷物を上げる前に水準器で水平の確認を行ってください。
5. 電動リフトを使用する前に、下記の条件についてｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙの状態を確認してください。
   A:スチールケーブルの摩滅やほつれがないか。
   B:ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙがﾌﾟｰﾘｰを外れていないか。またﾌﾟｰﾘｰに障害物が詰まっていないか。
   C:異常な摩擦を起こすようなものが引っかかっていないか。ﾌﾟｰﾘｰからｹｰﾌﾞﾙが外れていないか。
6. 電動リフトを揚げる前に、手動ﾊﾝﾄﾞﾙが手動ｼｬﾌﾄについていないことを確認してください。
7. 作業範囲5m以内は誰も通さないでください。
8. 電源コードをコンセントにさす前に、適切な電圧であることを確認してください。
9. 作業現場の頭上に障害物や危険なものがないことを確認してください。

○ 各部名称

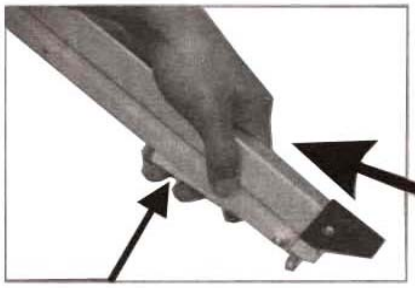


○ セットアップ

1．マストに付属する
ベルトを外します。

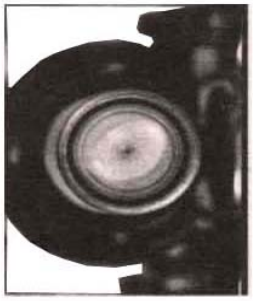
2．ｽﾗｲﾄﾞﾘﾝｸﾞのﾈｼﾞを緩め
脚を広げます。

3．ｽﾗｲﾄﾞﾘﾝｸﾞのﾈｼﾞを
締めます。

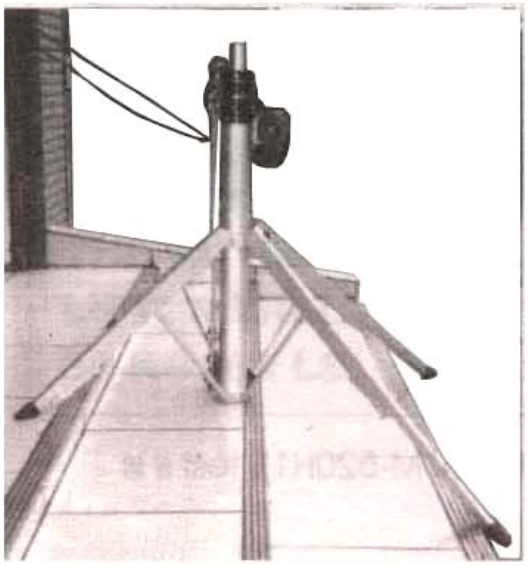


※EA901A-34とA-52は図の
ように脚のﾄﾘｶﾞｰを握りなが
ら引き伸ばしてください。

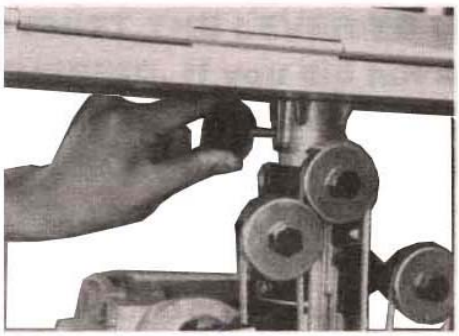
4．地面に届くまで脚を
引き出します。



5．EA901A-34とA-52は
水準器を装備しています。
ｾｯﾄｱｯﾌﾟの水平出しにご
利用ください。



6．EA901A-34とA-52は図のように
段差のある所でもｾｯﾄｱｯﾌﾟできます。



7．プラットホームを置いて下の
ネジを締めて固定します。
プラットホームのベルトを外し
プラットホームを広げます。

○ 操作前の点検につきまして

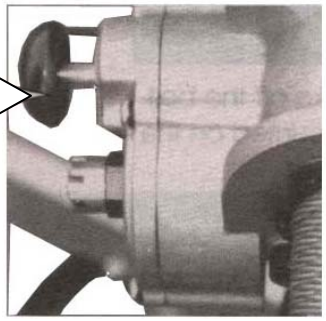
1．操作前に点検してください。

1-1　電源コードをコンセントにさす前に電圧が適切なことを確認してください。

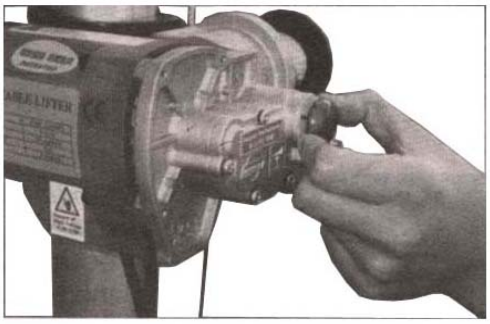
1-2　電動リフトを揚げる前に手動シャフトに手動ハンドルが装着されていないことを確認してください。

1-3　電動リフトを揚げる前に緊急停止ボタンは図のように完全に引き上げられていることを確認してください。もし、引き上げないでいると、ﾓｰﾀｰは空回りして、持上げ作業ができません。（手動で操作する時の状態です。）

緊急停止ボタンが完全に
引き上げられていますか？



1-4　緊急停止ボタンが引き上げられない時は右手でｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽを握り、ｽｲｯﾁﾎﾞﾀﾝをゆっくり押しながら、図のように左手で緊急停止ボタンを少しひねり、それから緊急停止ボタンを引き上げてください。
これはトラブルではありません。ｷﾞｱﾎﾞｯｸｽ内のｷﾞｱを接続するためです。



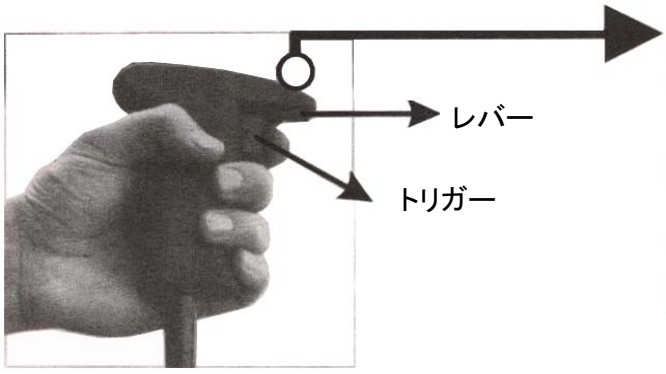
2．機能を点検してください。

2-1　モーターの作動状態の点検

2-2　リフトの上げ下げの状態点検

2-3　EA901A-34,A-52は脚の引き出しの点検も行ってください。

○ 電動リフトの操作方法（昇降）



昇降のマークはｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽの上部にあります。
常に注意して操作してください。

1．**上昇**：ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽのレバーを“UP”にシフトさせてﾄﾘｶﾞｰを押すと上昇します。

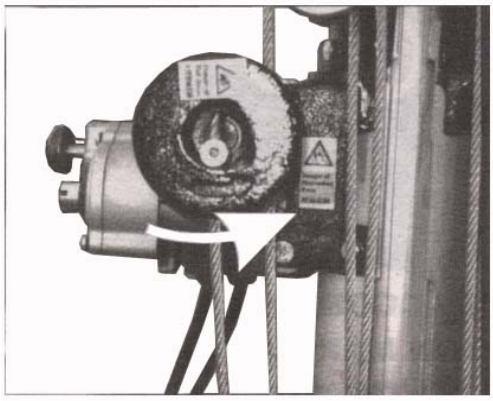
2．**下降**：ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽのレバーを“DOWN”にシフトさせてﾄﾘｶﾞｰを押すと下降します。

3．ｽｲｯﾁの押し加減により操作スピードが変化します。ﾄﾘｶﾞｰを少し押すとゆっくりｽﾀｰﾄし、深く押すと昇降がはやくなります。

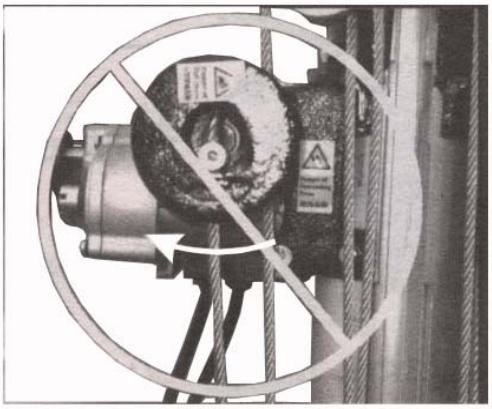
警　　告

充分に下げた後は、スイッチボックスのレバーを必ず“UP”のマーク位置に入れてください。
ｼﾌﾄﾚﾊﾞｰをUPに入れずに上昇の操作をすると機器はそのまま逆回転で上昇してしまいます。この操作は行ってはなりません。自動過負荷ブレーカーが作動して通常の能力（82.5kg）ではなく、30kgしか上げる能力を持ちません。

警　　告



適　　正



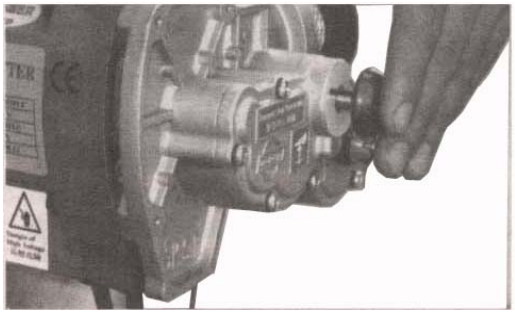
不 適 正

ウィンチの回転によっても操作の適性/不適性が判断できます。
誤った位置（DOWN)に入れたまま上昇の操作をするとウィンチは時計方向に回っています。

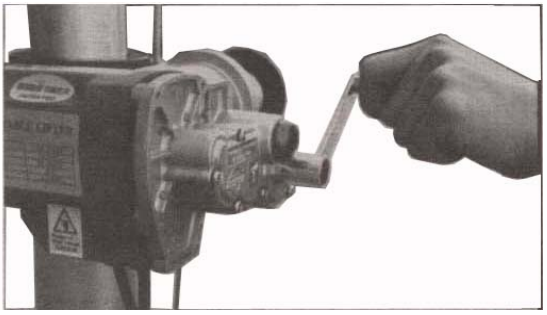
自動過負荷ブレーカーが “ダッ、ダッ、ダッ、ダッ”という音を発します。
そして電動リフトは頂上に届かないまま、上昇を停止します。
この状態の時は、まずレバーの位置を確認してください。レバーがUPの位置にない時は、UPの位置に入れるとリフトは降下します。下がりきったらレバーはUPのままにして、再度上昇の操作を行ってください。或は手動操作でリフトを下げることができます。

上昇の操作をする前にレバーを“UP”の位置に入れておくことを確認する事は非常に重要です。

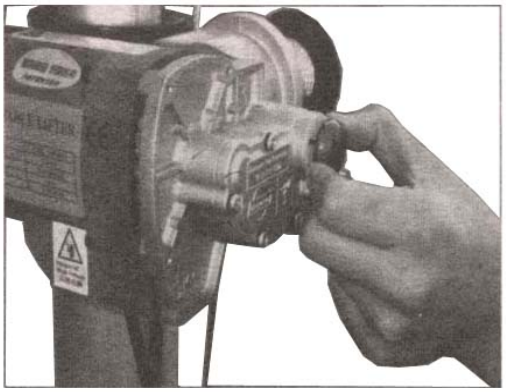
○ 緊急停止ボタン／手動操作



1. 不測の事態が発生した時に緊急停止ボタンを押します。機器は昇降をすぐに停止します。

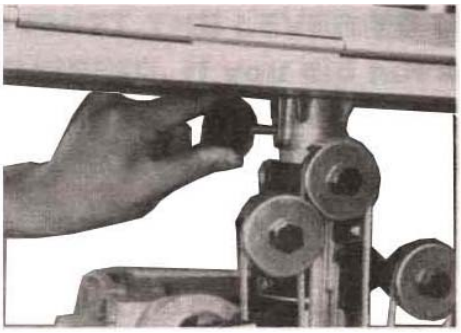


2. 手動操作：手動ハンドルを装着して回転させ昇降させます。
＊手動で操作する時は作業者は電動リフトの基本高より下にしゃがんで操作してください。



3. 電動で操作する時は緊急停止ボタンを引き上げてください。
緊急停止ボタンが引き上げられない時は右手でｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽを握り、ｽｲｯﾁﾎﾞﾀﾝをゆっくり押しながら、図のように左手で緊急停止ボタンを少しひねり、それから緊急停止ボタンを引き上げてください。
これはトラブルではありません。ｷﾞｱﾎﾞｯｸｽ内のｷﾞｱを接続するためです。

○ 収納



1. プラットホームの両翼を折り畳み、

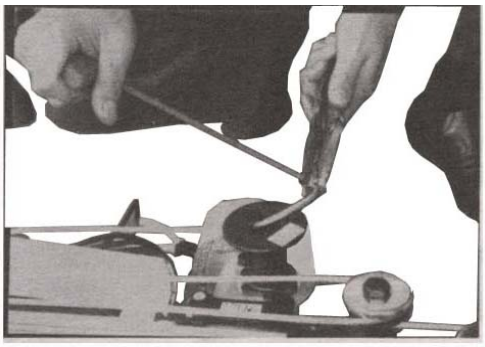
固定ベルトをかけます。

2. プラットホーム下部のネジを緩めて電動リフトのシリンダーから外します。

3. スライドリングのネジを緩め、脚を上げながら畳みます。もう一度スライドリングのネジを締めてください。

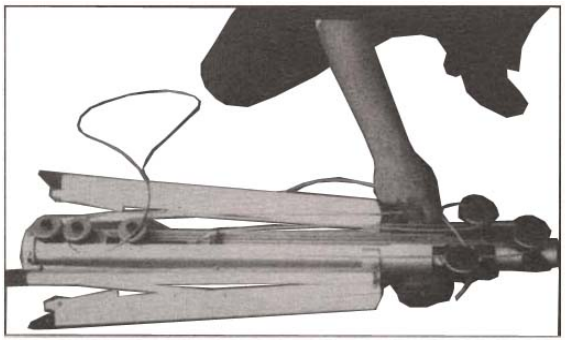
○ スチールケーブルの取外し

1. 準備する工具
ロッキングプライヤー、
ロングノーズプライヤー、
T型六角レンチ（4mm）、
ハンマー

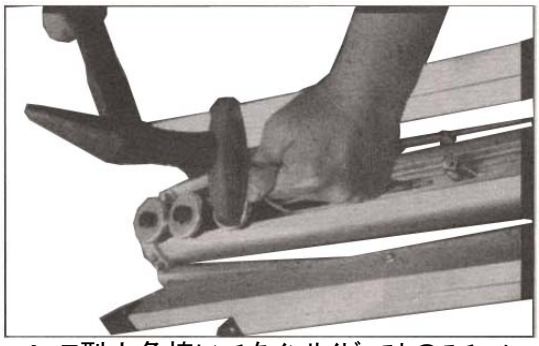


2. 左手にﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾟﾗｲﾔｰを持ち、ウィンチのｽﾁｰﾙ製ﾌﾞｯｼﾝｸﾞをつかみます。右手にT型六角棒ﾚﾝﾁを持ちﾌﾞｯｼﾝｸﾞ内の止めﾈｼﾞを緩めます。そしてウィンチからｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙを引きぬきます。

注意：摩り減ったｹｰﾌﾞﾙは擦りがほつれていることがあります。作業時は必ず手袋を着用してください。



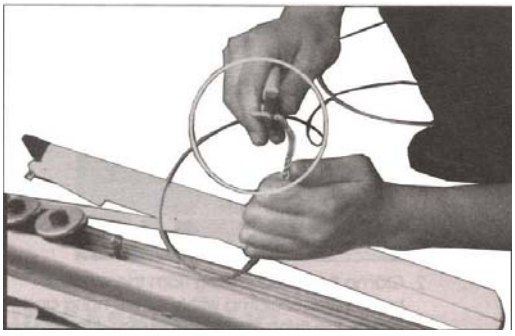
3. 電動リフターの各プーリーからスチールケーブルを外します。



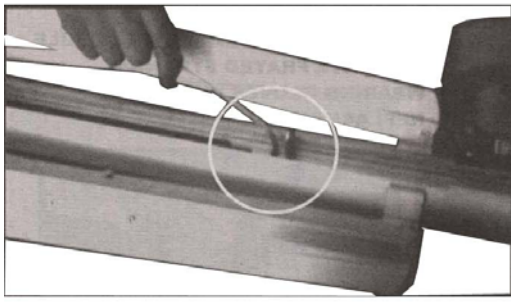
4. T型六角棒ﾚﾝﾁをｲﾝｻｲﾄﾞﾏｽﾄのｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙに当て、ﾊﾝﾏｰで軽く叩きながらｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙをﾏｽﾄから出します。ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙを完全にﾏｽﾄから取り外してください。

警告：古いスチールケーブルは廃棄してください。再利用すると不慮の事故及び人身事故の原因になります。

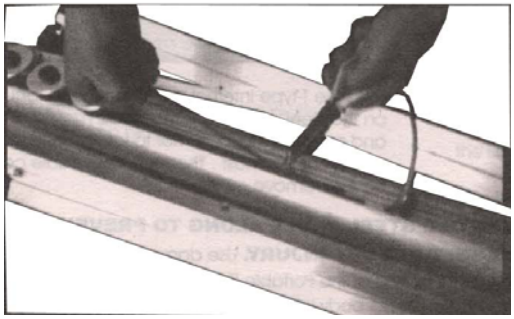
○ スチールケーブルの取付け



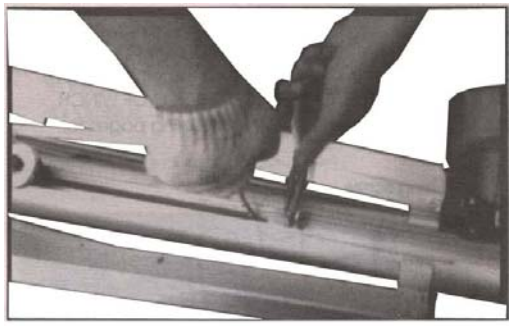
1. ｹｰﾌﾞﾙの端末（ｽﾘｰﾌﾞのない方）をﾏｽﾄに通しやすくするために、ﾛﾝｸﾞﾉｰｽﾞﾌﾟﾗｲﾔｰで約1cmほど適切に曲げておきます。



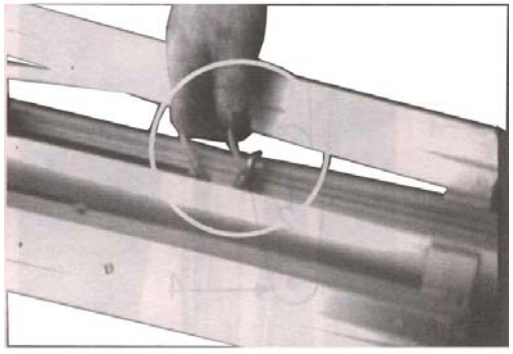
2. マストの穴にスチールケーブルを
差し込みます。



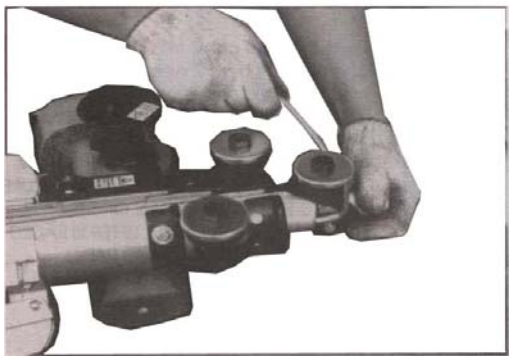
3. 穴にｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙを送りながら、
ｲﾝｻｲﾄﾞﾏｽﾄからﾛﾝｸﾞﾉｰｽﾞﾌﾟﾗｲﾔｰを
使ってｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙをつまみ出します。



4. ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙの端末のｱﾝｶｰｽﾘｰﾌﾞが
穴にしっかり止まるまでｹｰﾌﾞﾙを引いて
ください。



5. ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙのもう一方の端末を、
アンカーホールに図のように通します。

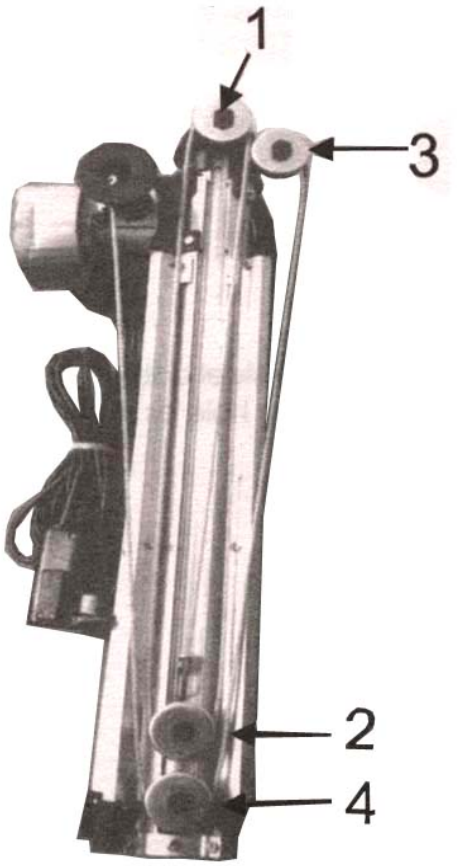


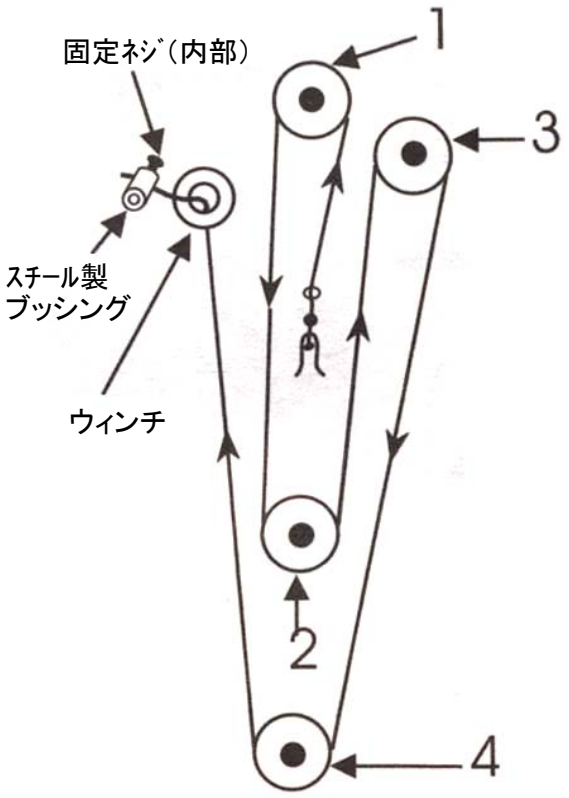
6. スチールケーブルを各プーリーに通して
いきます。
（サイズにより通し方が異なります。別頁
ご参照ください。）

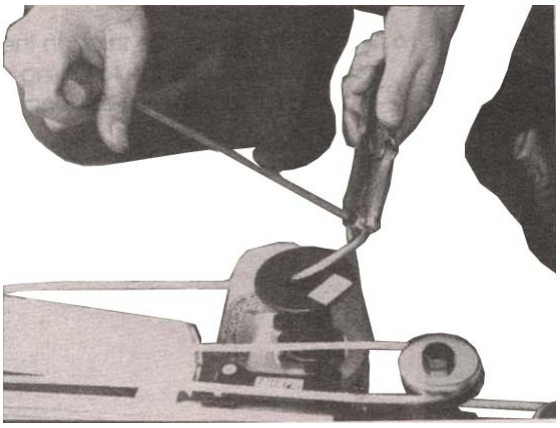
7. スチールケーブルを図のように矢印に従って各プーリーに通していきます。
最後にウィンチの底からウィンチの内部にケーブルを通します。

注意：ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙをｳｨﾝﾁの頂部から通して外に出さないでください。

（EA901A－27の場合）







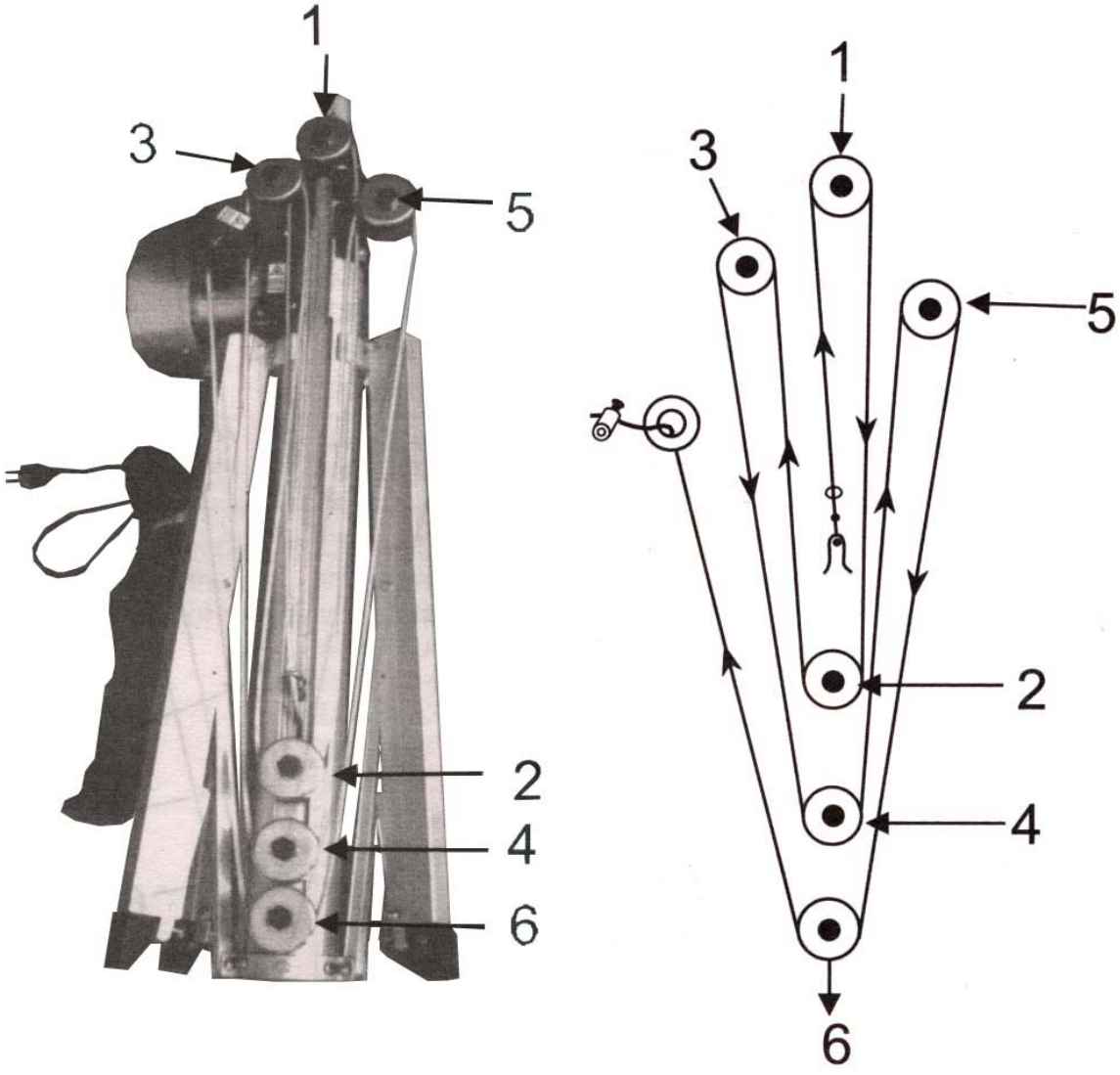
8. ｽﾁｰﾙ製ﾌﾞｯｼﾝｸﾞにｽﾁｰﾙﾛｰﾌﾟを通します。
左手にﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾟﾗｲﾔｰを持ち、ｽﾁｰﾙ製
ﾌﾞｯｼﾝｸﾞをつかみます。右手にT型六角棒
ﾚﾝﾁを持ちﾌﾞｯｼﾝｸﾞ内の止めﾈｼﾞを締めます。

注意：ﾌﾞｯｼﾝｸﾞの内部にある固定ﾈｼﾞは
しっかりと締めてください。

スチールケーブルを図のように矢印に従って各プーリーに通していきます。
最後にウィンチの底からウィンチの内部にケーブルを通します。

注意：ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙをｳｨﾝﾁの頂部から通して外に出さないでください。

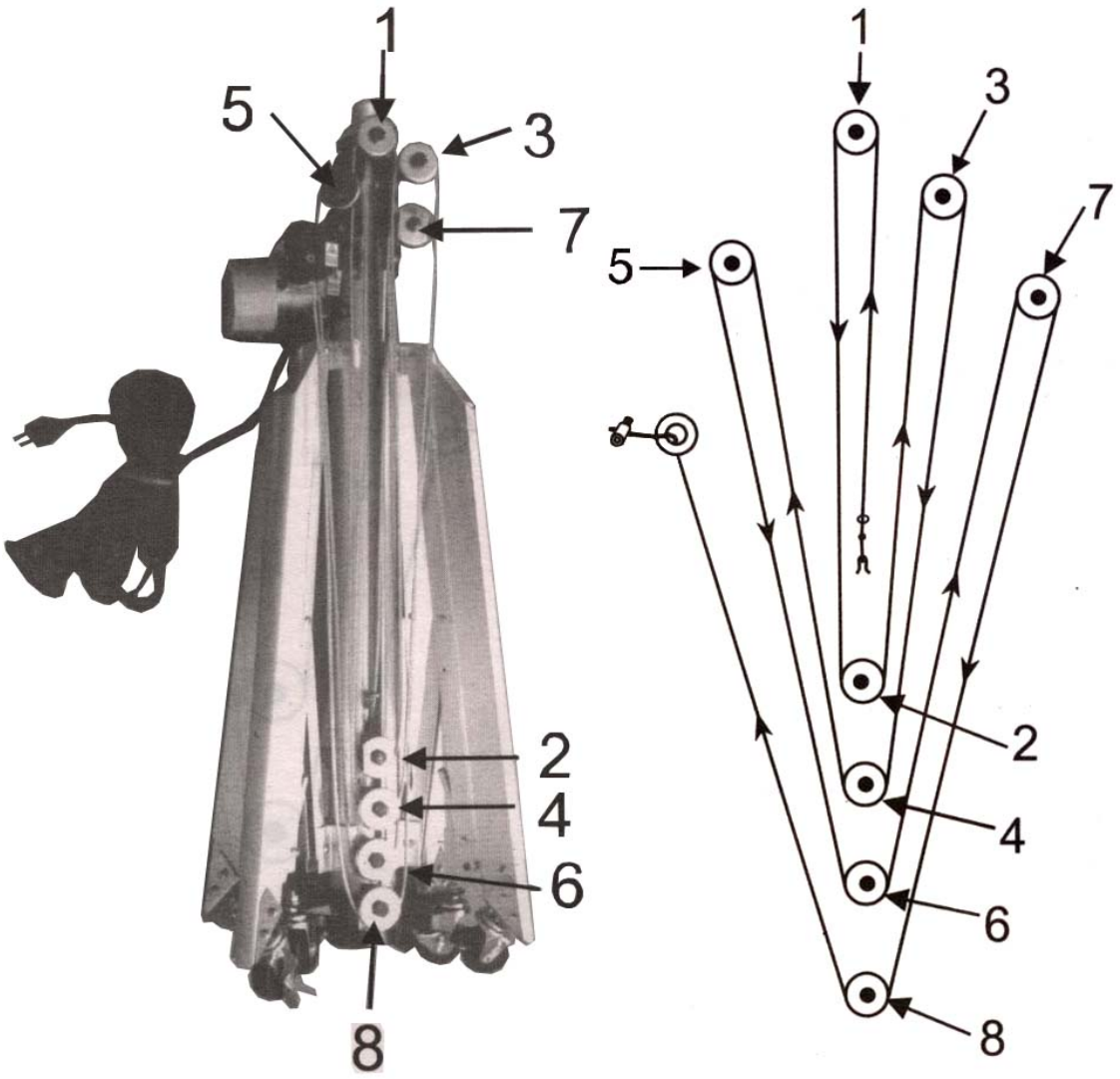
（EA901A－34の場合）



スチールケーブルを図のように矢印に従って各プーリーに通していきます。
最後にウィンチの底からウィンチの内部にケーブルを通します。

注意：ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙをｳｨﾝﾁの頂部から通して外に出さないでください。

（EA901A－52の場合）



○ トラブルシュート

症状	原因	対処
・トリガーを押してモーターが動いているのに、電動リフトが昇降しない。	・緊急停止ボタンが充分引き上げられているか確認。もし、緊急停止ボタンが充分に引き上げられていないと手動操作と同じ状態になり、モーターが作動していてもマストは昇降しない。	・もし、緊急停止ボタンが充分に引き上げられていない時は、右手でトリガーを少し押しながら左手で緊急停止ボタンを引き上げる。これはダメージではなくギアボックス内のギアを連結させるためである。
・モーターが作動しない。	・電源コードのプラグが、コンセントに差し込まれていない。	・もし、電源コードを差し込んでもモーターが作動しない時は修理に出す。
・電動リフトの負荷が20kgしかないのにリフトが上昇しない。	・上昇なのに、ハンドルのレバーが“UP”の位置に入っていない。 マストを充分下げてから、今度はマストを上げる前にレバーを“UP”のマークに入れておく。 もし、レバーをUPに入れないまま上昇の操作をするとマストは上がるがこれは絶対に行ってはならない行為である。この時自動過負荷ブレーカーが作動し使用荷重も120kgから30kgにおちる。	・もし、レバーが“UP”の位置にないときは、レバーをUPに入れるとマストは降下する。レバーはUPのままで操作してもう一度マストを上昇させる。或は手動によって同様に降下させることも可能。この時もレバーはUPにして上昇の操作を行う。 常にﾊﾝﾄﾞﾙﾎﾞｯｸｽの上に書かれているUP/DOWNの文字とレバーの位置に注意して、昇降操作を行う。

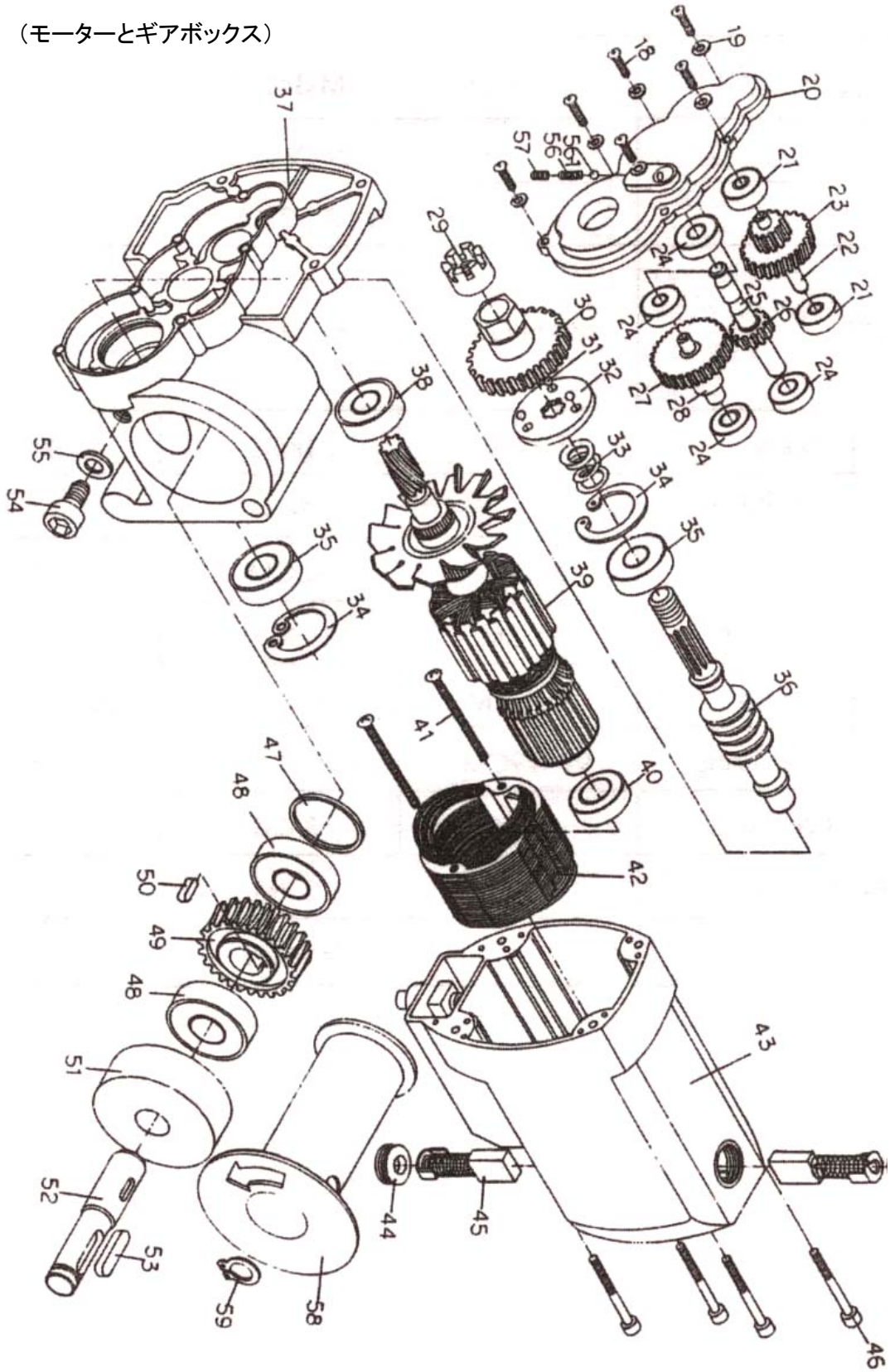
○ 通常点検

点検箇所	事項	方法	効果	対処
ﾃﾚｽｺｰﾋﾟﾝｸﾞﾏｽﾄ	注油	1．マストに注油されているかどうかを確認。 2．ﾉｰﾏﾙｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙを刷毛塗り。	本体の使用においてチリやホコリに覆われる。シリンダーを詰まらせて上がらなくさせるのを防止する。本体には適切に注油する。	シリンダーにｸﾞﾘｽｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙを刷毛塗り。
ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙ	裂け、ほつれ	1．ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙに裂けている箇所や他に異常などがないかを確認する。	ｽﾁｰﾙｹｰﾌﾞﾙの裂けやほつれ	シリンダーにｸﾞﾘｽｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙを刷毛塗り。

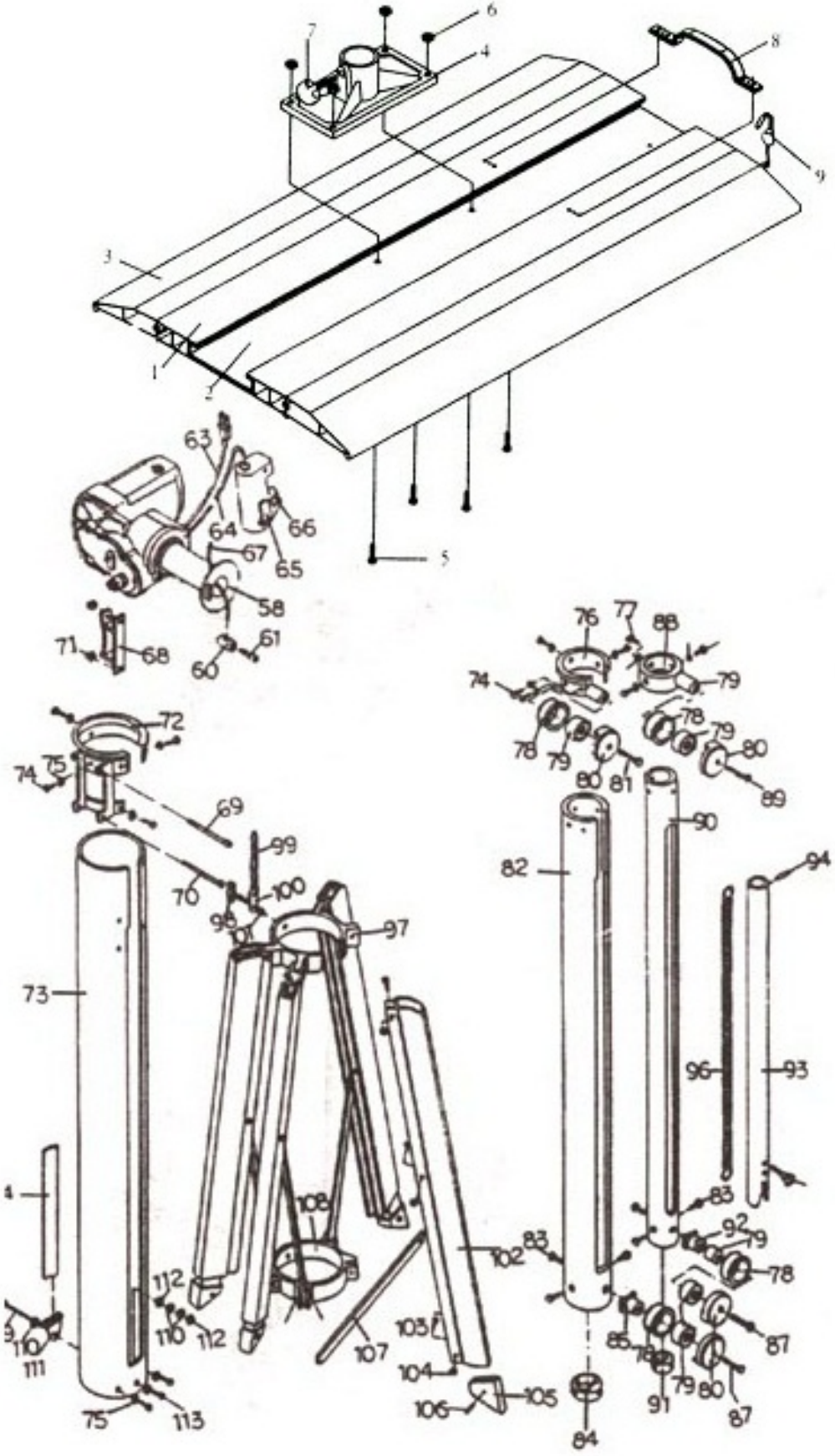
○ 仕様

品番		A－27	A－34	A－52
電圧／電流		AC 110V／8A		
最大積載量		82.5kg	82.5kg	3.5m以上 55kg 3.5m以下 82.5kg
重量	本体	14.2kg	21kg	37.5kg
	プラットホーム	5.3kg		
高さ	最低高	850mm	950mm	1050mm
	揚程	2700mm	3400mm	5000mm
本体ｻｲｽﾞ	折り畳み時	150X150mm	300X300mm	380X380mm
	展開時	990X990mm	1525X1525mm	1985X1985mm
コントロールワイヤー長		2.7m	3.4m	5m
電源コード長		2.7m		
モーター		電動式		

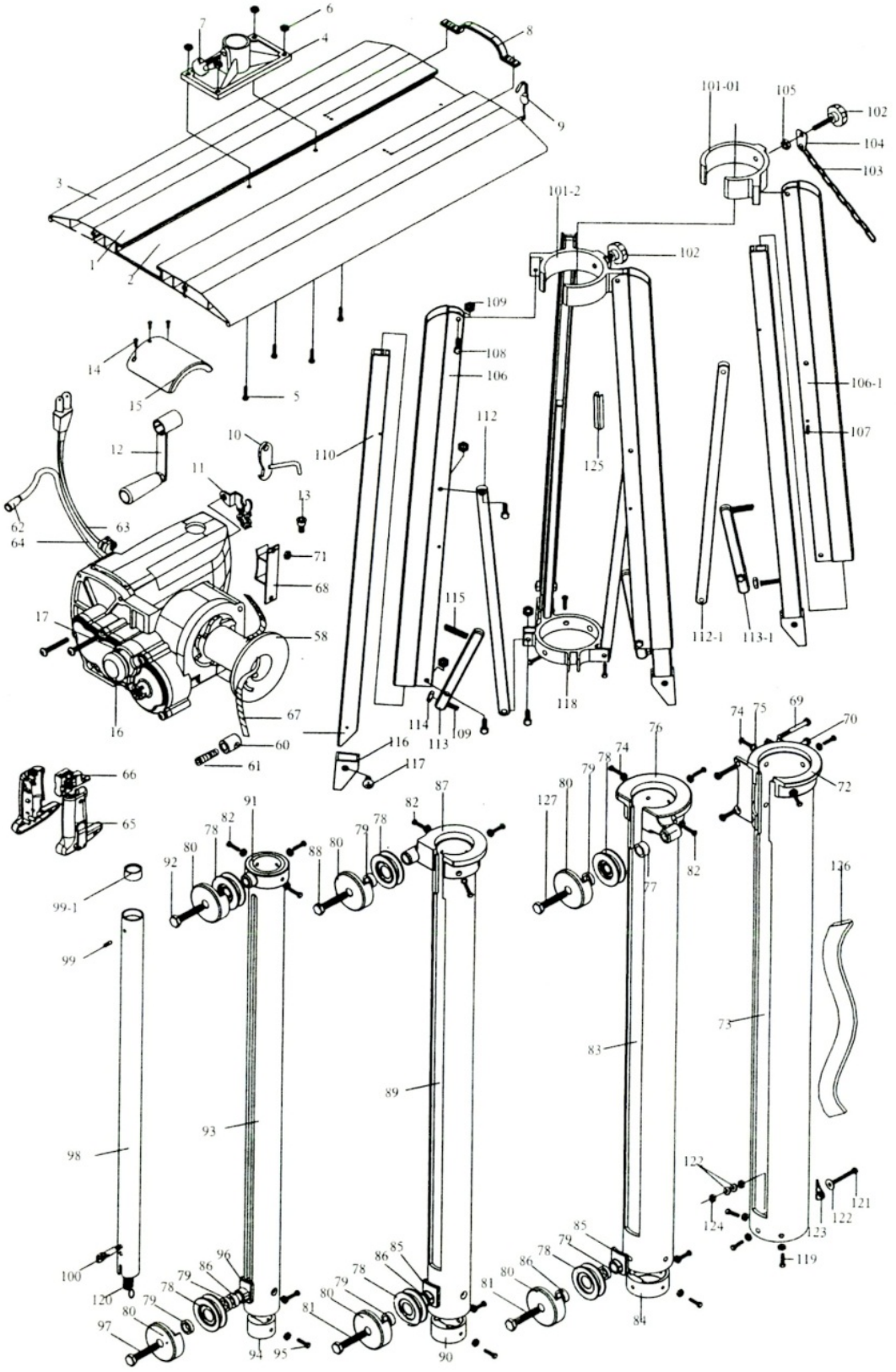
（モーターとギアボックス）



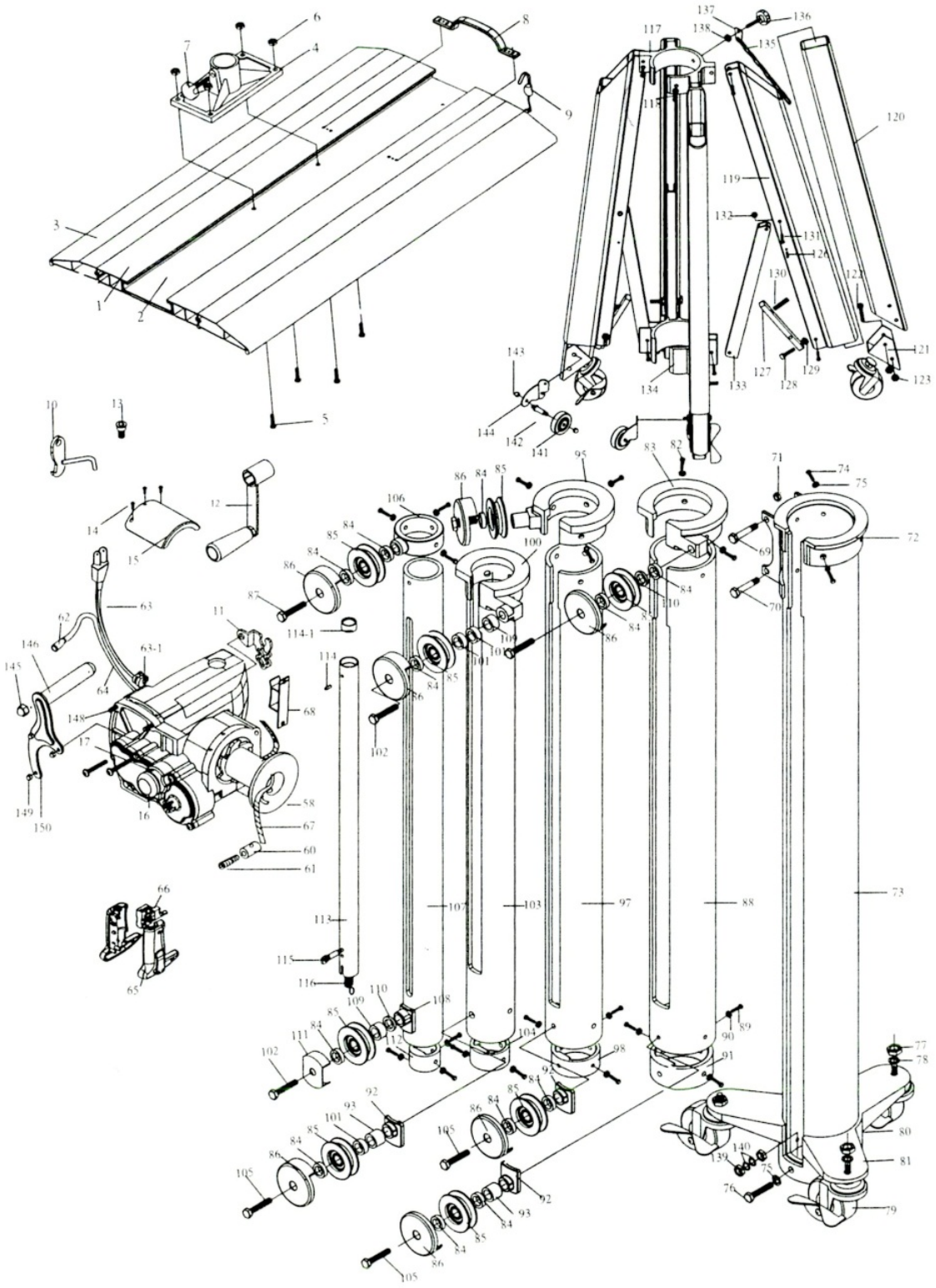
（EA901A－27 展開図）



（EA901A－34 展開図）



（EA901A－52 展開図）



株式会社　エスコ
本社／〒550-0012　大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226　　FAX(06)6541-0929